

第1回旭市新庁舎建設市民会議 会議録

日時：平成25年12月24日

午前10：15～

（委嘱書交付式10：00～10：15）

場所：本庁舎3階委員会室

出席委員：13名

事務局：新庁舎建設市民会議設置要綱（以下「要綱」という。）により会議の会長、副会長を委員の互選により選出することとなる。意見はあるか。

委員：事務局で腹案があれば提案してほしい。

異議なし

事務局：会長には林委員、副会長には埴委員にお願いすることを提案する。

異議なし

事務局：それでは、全員賛成であるため、会長を林英光委員、副会長を埴政美委員にお願いし、会長、副会長から挨拶をいただく。

議長：これまでのものづくりは、縦割りで決まったものの考えをしてきた。

これからは自由なものの考え方が必要である。

日本の幸福度を数値化すると世界で90番目程度の順位となる。また、あるエコノミストの予測では、2050年には世界で最も悲惨な国となるとの見方がある。人口減少、高齢化といった要因がその理由となっている。

しかし、その悲惨な状況こそが日本の良さではないのか。質素な生活にこそ日本の素晴らしさがある。戦後まもなくは、旭市も美しい自然があったが今はそれも失われた。これまで、何不自由なく暮らしてきたが、ここでもう一度見直す必要がある。箱物を作る時代は終わった。

庁舎においても、これからはエコロジカル、省エネ、高齢者などに配慮した新しい考え方が必要となる。

豊かな材料を持った旭市が一つの庁舎から日本に新しい施設のあり方を唱えていければいいと思う。

委員：みなさんとともに検討を重ね、すばらしい庁舎の建設が行えればと思う。

事務局：要綱の規定により会長を議長とし議事の進行をお願いします。

議長：議題１について事務局の説明を求める。

事務局：議題１（新庁舎建設検討経過及び新庁舎建設候補地）について説明を行う。

議長：議題２ 議題１に関する質疑及び意見を求める。

委員：新庁舎建設の必要性は理解できた。警察においても分庁方式を採用してきた。長の決裁を得るために支庁と本庁を行き来するなどの非効率を経験している。

市の組織として考えなければならないのは、住民にとっての利便性である。海上中学校跡地が候補地となっていることを考えると飯岡中学校跡地も候補として考えることができると思うが、駅からの距離等を考えると難しい。

事務局：支所では、現在市民生活課、保険年金課の業務を１支所４名合計１２名で運営している。支所という機能は継続しても、どこまでの業務を維持するかは今後検討していく。

議長：私の住んでいる自治体では、コンビニでも諸証明の交付を行っている。

委員：支所の利用状況を把握することが必要である。

また、利用状況が少ないことだけで廃止としてよいのか。

支所のあり方については、誰がどのように検討するのか。

コンビニを活用することによって庁舎の規模等を削減できるのであれば検討する必要がある。旭市の魅力を高める努力をし、人口を増やすことを考える必要がある。

そのような努力を行った上で、庁舎の規模等も検討する必要がある。庁舎建設においては、敷地の確保だけではなく、道路、排水等の周辺整備を考えなければならない。

敷地については、市が保有している土地を前提に考えるだけでなく、将来的な視点に基づいて今投資することに理由が立つのであれば新たに土地を取得することも検討してよいのではないかと。市の貴重な資料等の書類の保存も考慮すべきこと。

事務局：コンビニでの諸証明等の交付は、職員、経費削減という考えよりは、住民サービスの向上を前提にして行われているものであると思う。庁舎建設の基金を毎年 3 億円積み立てており、現在の積立額は、12 億円で、庁舎建設が始まる 28 年度までには 24 億円となる見込み。合併特例債という有利な財源もあるので有効に活用していきたい。

委員：交通の便の良い消防本部北側付近は魅力的である。コンビニは、高齢世代等は、なかなか利用できない人も多いとおもうので、支所は残して欲しい。

委員：海上中学校の跡地については、排水の問題は大きい。そこを工事等により改修する費用を考えるのであれば別の場所の方がよいのではないかと考えている。

委員：庁舎には、他の市町村の人も多く来るため、駅から近い場所にあることが必要であると考え。庁舎を建設することで、税金が上がることはないか。

事務局：基金や合併特例債という有利な財源を活用し、住民に新たな負担がかからないように運用していく。

市長：合併特例債の他に地域振興基金という財源もある。

委員：システム化による業務を行えば、分庁方式であっても問題ないのではないかと。

旭市は県内で高齢化率 26 番目という状況で、今後ますます高齢化が進むと思われる。そうすると本庁一本化となると住民の利便性は下がる。そう考えるとなぜ分庁方式を採用しないのか。
庁舎の建て替えが妥当なのか。まちのシンボルである現庁舎を活かした方法の検討も必要ではないか。

事務局：耐震性を I s 値という数値により算出しており、鉄筋コンクリートの建物に必要な数値を 0.6 とし、その中でも拠点となる施設については、0.9 という数値を要するとされている中で、本庁舎においては、建物の場所によって値は異なるが、最低で 0.26 という値が検出された場所がある。この数値は、非常に低く、危険性を示す値である。
耐震補強工事により耐震性を増強し延命する方法もあるが、その工事にも多額の費用を要するため、災害時の拠点施設ともなり得る新たな庁舎の建設を行うことで進めている。

委員：海上支所は、まだ新しい庁舎であるが新庁舎建設後の活用方法はどうなるのか。分庁方式に問題がないのであれば分庁は利便性が高い。
飯岡支所と干潟支所の老朽化はどの程度か。今後の活用の予定はどうなっているのか。

委員：配布された資料は、新庁舎を建てるための資料である。
老朽化による問題があることは分かるが、住民の利便性を向上させるための手段は他にもあるのではないか。その検討をまず行う必要がある。

議長：総合的なものの考え方が必要である。それは、今後の議論の中で出てくると思う。

委員：要綱によると本会議の所掌事務として必要な提言とあるが、それは組織としての提言なのかそれとも委員個々の提言なのか。
合併の目的であるコンパクトな行政を目指すのか、それとも住民の利便性を優先するのかは、非常に難しい問題。
この委員会でどこまで議論するかは分からないが、合併してもそれぞれの庁舎をそのまま維持することは、非常に費用がかかること。

議長：コンパクトシティ化は避けられない。その中でどれだけ新しい手法を考えられるかが重要である。

委員：庁舎建設に関する予算規模はどの程度か。

委員：支所の規模は、小さくなるとしても今後も必要なものであると考える。空スペースについては、福祉のために活用する等の検討をしてほしい。また、今後の更なる合併も見据えて検討する必要があるのではないか。

委員：駅から近い場所に建設することが必要ではないか。現在の駐車場の賃借料を考えると他の場所へ移転することも検討してよいのではないか。

議長：ヨーロッパでは、古い建物と新しい建物が混在している。町並みをとっても、昔は住宅地区には住宅、工業地区には工場とそれぞれの住み分けがあったが、今の考え方は、そういった住み分けを行わず、住宅地の中に鉄工所があったり、商業施設があったりする。そういった様々な事業を織り交ぜ一つの町並みとする考え方である。これがコンパクトシティの一つの考え方である。過疎地域においては、田園や森林を大切にしながらまちを発展させることが重要。コンパクトと混在の両方がスマートシティの要素となる。旭でも地域的な充足がありながら中心に人の流れをもっていくことができれば素晴らしい。

委員：本委員の権限及び任期についてはどの程度か。

事務局：委員からは市民として様々な意見を頂き、その内容を最終的な決定組織である庁舎建設検討委員会に提案し決定していくこととなる。また、任期については庁舎建設が終了するまで基本的には現在の委員にお願いしたい。役職等による選出ではなく、あくまでも個人に委嘱するものと理解いただきたい。建設規模については、先進地の事例としては、愛知県新城市が人口 5 万人 職員 400 人で 50 億円程度の建設費 青梅市は、90 億円程度の建設費

総務省の起債許可の上限額は 50 億円となっているが、建設に関する費用の高騰等も考慮しなければならず、現段階で予算規模を決められるものではないことはご理解いただきたい。

各公共施設の竣工年については、次回会議までに用意する。

議 長：志を高く持って取り組んでほしい。デザインを行う事業者は、値段が高くても低くても良いものを作ることができる。合併した旭市が誇りを持てるような庁舎建設を目指したい。

委 員：先ほどの耐震改修の話であるが、大多喜町では、昭和 34 年竣工の古い庁舎を耐震改修及び増築し現在も利用している。耐震改修はお金がかかるという説明であったが、もう一度考えてほしい。

議 長：全員の意見を伺ったので、次回の予定を事務局より説明をお願いしたい。

事務局：次回には、基本構想の素案を作成したい。
会議の日程は、1 月下旬を予定している。

議 長：基本構想の中には、この庁舎建設だけではなく、旭市全体としてのビジョンを盛り込んでもらえると審議しやすい。
最後に市長からご挨拶をお願いします。

市 長：公共施設の白書として、施設の利用状況等の分析を行い資料の作成を行っているので、その資料も今後の検討の材料にしていきたい。
いろいろな観点から議論を行い、よりよい庁舎の建設を目指したいので、ご協力をお願いしたい。

議 長：本日の会議を終了する。

12：00 終了